

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】令和 6 年 8 月 2 日

評価対象事業		評価者	こども支援課担当課長 高木 賢一郎	
こども-02	子育て支援事業	☒ 自治事務	主管課	こども支援課
		☐ 法定受託事務	関連課	こども家庭相談課
総合計画上の位置付け	分野	4-(2) 子育て	施策の方針	4-(2)-①子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	子育て家庭等
意図	子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。
効果	子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

・子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュを配置した。
・「かまくら冒険遊び場・梶原」を協働事業者と運営するとともに、子育て支援団体等の情報発信及び情報提供を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	かまくらこども相談窓口きらきら(子育てメディアスポット)運営及び保育コンシェルジュ配置事業	第6分庁舎1階におけるかまくらこども相談窓口きらきら(かまくら子育てメディアスポットを含む)の運営及び保育コンシェルジュの配置	子育て支援団体登録数(団体)	84団体 / 101団体		104団体	83.17%
				3,471 / 4,049		310	
02	子育て支援行事等助成事業	市内の子育て支援団体への補助金交付	交付団体数(団体)	0団体 / 1団体		1団体	0%
				0 / 204		200	
03	冒険遊び場事業	協働事業者との冒険遊び場事業の実施	冒険遊び場利用者数(人)	9,014人 / 7,000人		7,000人	128.78%
				8,849 / 9,245		12,997	
		財源内訳	国県支出金	5,899 / 9,515		8,649	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	6,421 / 3,983		4,858	
		事業費の合計(千円)		12,320 / 13,498		13,507	
		人件費(千円)			24,307	25,345	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.1	1.0	1.0	3.2	2.2	
会計年度任用職員	0.4	0.0	0.0	0.0	5.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	かまくらこども相談窓口きらきら(子育てメディアスポット)運営及び保育コンシェルジュ配置事業	子育て家庭への情報提供等を行うことで子育て支援の充実を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、従前どおり活動する団体が減少したため、指標である子育て支援団体登録数は減少した。	どこに相談したらいいかわからない子育て世帯の声を受け止めるとともに、子育ての情報提供等を行い、子ども・子育て支援事業計画の推進に寄与した。	かまくらこども相談窓口きらきらにおけるより相談しやすい環境の整備、効果的な情報収集・発信の方法などについて検討する必要がある。
02	子育て支援行事等助成事業	補助対象基準を満たす団体がなかったため、実績なし。	補助対象基準を満たす団体がなかったため、事業未実施。	補助対象基準について、実態に合わせた見直しを行う。毎月、市内の子育て支援団体の集合体の定例会に参加し、情報交換等を行っているが、連携方法等について検討する必要がある。
03	冒険遊び場事業	子どもたちがのびのびと自由に遊べる遊び場とともに子育てに関する情報発信や情報提供を行うことで、子ども・子育て支援の充実を図り、目標利用者数を達成した。	子育て支援団体等と協働で実施することで、地域の交流や多世代交流の活性化につながり、子ども・子育て支援事業計画の推進に寄与した。	市の全額負担により、事業を実施しているが、事業費負担割合の見直しを検討する必要がある。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
			協働実施済の場合のパートナー NPO法人

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☒ 拡充 ☐ 改善・変更 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
かまくらこども相談窓口きらきら(子育てメディアスポット)や冒険遊び場事業において、子育てに関する情報提供の充実を図る。 冒険遊び場事業については、協働事業の事業手法の見直しや、本市における事業費負担割合の軽減を検討する。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	子育て支援団体登録数						単位	団体
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
子育て家庭への情報提供等を行うことで子育て支援の充実を図るため。	目標値	-	95	98	101	104	107	
	実績値	92	75	94	84			
	達成率	100%	78.9%	95.9%	83.2%			

指標(単位)	冒険遊び場利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
子どもたちがのびのびと自由に遊べる遊び場とともに子育てに関する情報発信や情報提供を行うことで子ども・子育て支援の充実を図るため。 R4年度以降の目標値を修正	目標値	-	3,464	7,000	7,000	7,000	7,000	
	実績値	3,331	7,021	8,503	9,014			
	達成率	100%	203%	121.5%	128.8%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	プレイパーク事業(冒険遊び場)実施状況							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横浜市	川崎市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	×	○	○

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	他自治体におけるプレイパーク事業実施状況にはバラつきがあり、手法も市町村により様々であるため、今後も他自治体の実施状況や実施手法を参考とし、本市の自然環等を活かした事業実施を検討していく必要がある。
--------------------------	---